

MIRAI
 **未来工業株式会社**
 製造元：Nanjing Toua Hardware and Tools Co.,Ltd.
 Made in PRC

営業管理課
 〒503-0201 岐阜県安八郡輪之内町楡俣1695-1
 TEL(0584)68-0008(代) FAX(0584)69-4282
 ホームページ：<http://www.mirai.co.jp/>

仙台支店：宮城県多賀城市町前1丁目9番50号	〒985-0845	TEL(022)367-8250(代)	FAX(022)367-8232
新潟支店：新潟市西区流通センター5丁目4番地18	〒950-2031	TEL(025)269-0269(代)	FAX(025)269-0234
東京支店：東京都中央区日本橋本石町3丁目2番4号	〒103-0021	TEL(03)3242-7871(代)	FAX(03)3242-7870
名古屋支店：名古屋市東区泉1丁目15-17	〒461-0001	TEL(052)957-2733(代)	FAX(052)957-2764
大阪支店：大阪市天王寺区空堀町15番6号	〒543-0012	TEL(06)6765-4810(代)	FAX(06)6765-4814
中四国支店：高松市香西東町311番地1	〒761-8013	TEL(087)882-2040(代)	FAX(087)882-2023
福岡支店：福岡県粕屋郡志免町別府西3丁目3番24号	〒811-2232	TEL(092)937-2215(代)	FAX(092)937-2223
住設部：岐阜県安八郡輪之内町楡俣1695番地の1	〒503-0201	TEL(0584)68-0028(代)	FAX(0584)69-5602

札幌営業所：札幌市西区発寒13条13丁目2番35号	〒063-0833	TEL(011)663-3233(代)	FAX(011)663-3288
旭川営業所：旭川市三条通13丁目672-4	〒070-0033	TEL(0166)21-8848(代)	FAX(0166)26-6673
盛岡営業所：岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢11-501-7	〒028-3621	TEL(019)637-7097(代)	FAX(019)637-7099
仙台営業所：宮城県多賀城市町前1丁目9番50号	〒985-0845	TEL(022)367-8250(代)	FAX(022)367-8232
郡山営業所：郡山市富久山町久保田字伊賀河原34	〒963-8071	TEL(024)991-8898(代)	FAX(024)991-8897
新潟営業所：新潟市西区流通センター5丁目4番地18	〒950-2031	TEL(025)269-0269(代)	FAX(025)269-0234
松本営業所：長野県東筑摩郡山形村8228	〒390-1301	TEL(0263)97-3141(代)	FAX(0263)97-3142
北陸営業所：金沢市玉鉾4丁目137	〒921-8002	TEL(076)292-3611(代)	FAX(076)292-2151
水戸営業所：茨城県常陸大宮市工業団地6番地	〒319-2134	TEL(0295)52-2155(代)	FAX(0295)53-0087
さいたま営業所：さいたま市北区宮原町3-384 宮原ビル4F	〒331-0812	TEL(048)652-9221(代)	FAX(048)666-9344
東京営業所：東京都中央区日本橋本石町3丁目2番4号	〒103-0021	TEL(03)3242-7871(代)	FAX(03)3242-7870
千葉営業所：千葉市中央区富士見1丁目14番13号	〒260-0015	TEL(043)227-1605(代)	FAX(043)227-3358
横浜営業所：横浜市西区北幸2-8-19 横浜西口Kビル4F	〒220-0004	TEL(045)313-5591(代)	FAX(045)313-5622
静岡営業所：静岡市駿河区宮竹2丁目23-9	〒422-8035	TEL(054)236-1505(代)	FAX(054)236-1506
名古屋営業所：名古屋市東区泉1丁目15-17	〒461-0001	TEL(052)957-2733(代)	FAX(052)957-2764
大垣営業所：岐阜県安八郡輪之内町楡俣1695番地の1	〒503-0201	TEL(0584)68-0002(代)	FAX(0584)69-3900
大阪営業所：大阪市天王寺区空堀町15番6号	〒543-0012	TEL(06)6765-4810(代)	FAX(06)6765-4814
神戸営業所：神戸市長田区御蔵通2丁目1番地	〒653-0014	TEL(078)574-0468(代)	FAX(078)574-0556
高松営業所：高松市香西東町311番地1	〒761-8013	TEL(087)882-2040(代)	FAX(087)882-2023
松山営業所：松山市小栗1丁目6番26号	〒790-0036	TEL(089)921-2905(代)	FAX(089)921-9904
広島営業所：広島市安佐北区白木町大字三田字下大橋3882-1	〒739-1521	TEL(082)829-0985(代)	FAX(082)829-0680
福岡営業所：福岡県粕屋郡志免町別府西3丁目3番24号	〒811-2232	TEL(092)937-2215(代)	FAX(092)937-2223
大分営業所：大分市賀来北2丁目8番17号	〒870-0877	TEL(097)586-5545(代)	FAX(097)586-5546
長崎営業所：長崎県諫早市多良見町市布1252番地	〒859-0403	TEL(0957)43-0575(代)	FAX(0957)43-6730
熊本営業所：熊本県菊池市泗水町永1924番地1	〒861-1204	TEL(0968)38-5622(代)	FAX(0968)38-2963
鹿児島営業所：鹿児島市東郡元町15番29号	〒890-0068	TEL(099)250-6311(代)	FAX(099)284-1326
沖縄営業所：沖縄県那覇市天久1164-9	〒900-0005	TEL(098)860-7919(代)	FAX(098)860-7929

G-Shot

品番：**GG-1** 取扱説明書 **保管用**

この取扱説明書は、お使いになる方が、いつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

ご使用前に、本取扱説明書をすべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用ください。

※誤った取扱いをすると、使用者が重傷を負う恐れがあります。

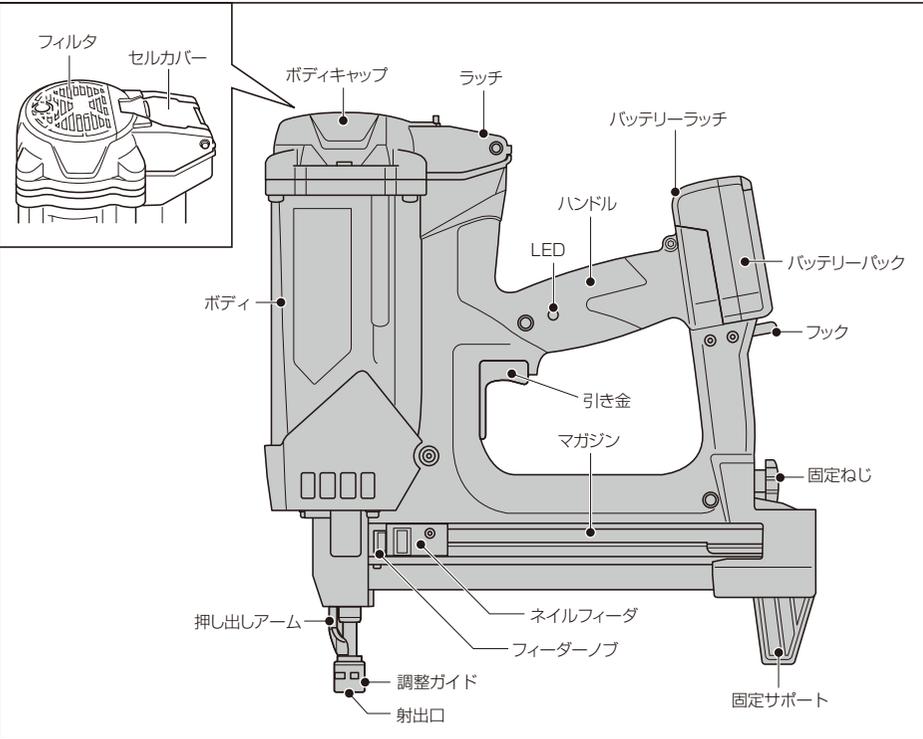


- 1,各部の名称と仕様…………… 1~2
- 2,使用鋏と使用燃料ガス(別売) …… 3
- 3,安全上のご注意…………… 4~7
- 4,ご使用前の点検と動作確認 …… 8
- 5,使用方法…………… 9~14
 - ・鋏の装填方法…………… 9~10
 - ・バッテリーパックの脱着方法… 11
 - ・ガス缶について…………… 12
 - ・ガス缶の装填・交換方法 …… 13
 - ・鋏打ち…………… 14
- 6,調整ガイドの調整…………… 15
- 7,充電方法・充電器について …… 16~17
- 8,鋏づまりの直し方…………… 18~19
- 9,ガス銃のメンテナンス…………… 20~21
- 10,保障・アフターサービスについて… 21
- 11,トラブルシューティング…………… 22
- 12,全国販売拠点、サービス拠点一覧… 23

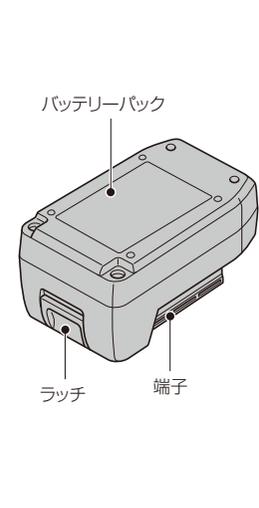
MIRAI
 **未来工業株式会社**
 製造元：Nanjing Toua Hardware and Tools Co.,Ltd.
 Made in PRC

1,各部の名称と仕様

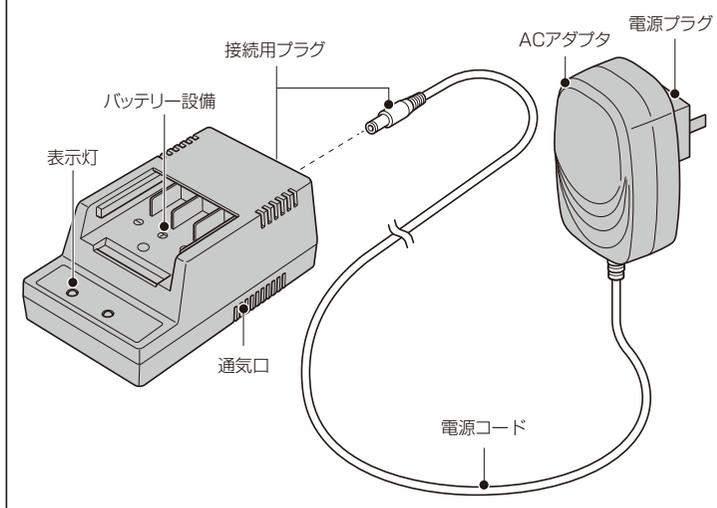
ガス銃本体



バッテリーパック



バッテリー充電器



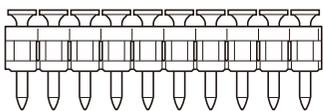
製品名	ガス式釘打機 G-Shot
品番	GG-1
寸法	(H)384×(W)111×(L)360mm
質量	3.6kg(バッテリーパック含む)
釘装填数	34本
専用電池パック	G-Shot用バッテリーパック
バッテリー容量	DC7.2V 1.5Ah 約4000本/1フル充電 ※使用環境、電池の状態などによって打込可能本数は変化します。
専用充電器	G-Shot用充電器(ACアダプタ含む)
電源	AC100V 50/60HZ
消費電力(定格出力)	5.4VA(7.2V 750mA) ※但し使用環境、電池の状態などによって充電時間は変化します。
充電時間	最長150分
付属品	キャリングケース、保護メガネ、耳栓、六角レンチ、充電器セット(ACアダプタ含む)、バッテリーパック(2個)、ピストン部用潤滑油

〈使用鋏、使用燃料ガス〉

専用品：G-Shot用ガス缶 鋏セット(品番：GG-F20B)

セット内容

①プラスチックストリップ鋏
(800本入)

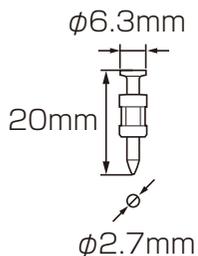


②ガス缶 (1本入)

内容物：

燃料ガス:プロピレン ブタン
噴射ガス:プロピレン プロパン

※いずれも強燃性高圧液化ガスです。
35℃で約1.5MPa



使用できる鋏の最小・最大値

最小	最大

※コンクリートへの貫入量が
15mm~20mm程度になる
ように選定してください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用ください。
- 注意事項は「△警告」・「△注意」に区分しています。

△警告

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意です。

△注意

誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意です。

なお「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

△警告

本機の作業環境

- 密閉空間で使用しないでください。
※排気ガスで気分が悪くなる場合があります。室内で使用する場合は、窓を開ける等の換気をしてください。
- 揮発性可燃物の近くで使用しないでください。
※ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの近くで使用すると、引火、爆発の恐れがあります。
- 気温-5~40℃の間で使用してください。
※本体、ガス缶の破損により、爆発する恐れがあります。
- 暗い場所での使用はしないでください。
- 雨、多湿の場所での使用はしないでください。
- 作業員から1m以内に、他の作業員が入らないようにしてください。
- 壁の反対側に作業員がいないことを確認してください。
- 高所作業は下に他の作業員がいないことを確認してください。
- 足元が不安定な場所では使用しないでください。
- 作業環境に作業員以外の方がいる場合は、本機の特長（爆発音など）を伝えてください。

⚠ 警告

作業前の安全確認

- 作業者及び周りの方は安全保護具を使用してください。
コンクリートの破片等が飛ぶことがありますので、ヘルメット・保護メガネ・防じんマスクなどを着用してください。
また、打撃音から耳を保護するため、耳栓の着用をしてください。
- 使用する前に必ず点検を行い、異常がある場合は使用しないでください。
点検方法はP8参照

⚠ 警告

作業開始～作業中

- 指定のガス缶、鋺を使用してください。
- バッテリーパック脱着・ガス缶交換・鋺装着・調整・メンテナンス・移動など鋺打ちするとき以外は、『引き金』に指をかけないでください。
※安全装置は付いていますが、何らかの衝撃で誤発射し、重大事故になる可能性があります。
- 射出口を絶対に人に向けないでください。
- 片手で鋺打ちはしないでください。
※鋺打ちの衝撃で、本機が動き手首を痛める可能性があります。
- 射出口を対象物に対して直角に押し当てて使用してください。
※鋺がコンクリートに打ち込まれず、跳ね返る場合があります。
- 本機が高温になった場合は、使用を中断してください。
※連続使用すると、ボディ、押し出しアームなどが高温になります。本機が熱くなった場合は、冷えてから使用してください。
- 異常を感じたら、使用を中止してください。
異常のある場合は決して分解せず、お買い求めの販売店を通じて弊社営業管理課または最寄の営業所にお申し付けください。

⚠ 警告

作業後～保管

- 作業終了時には、必ずガス缶・バッテリーパック・鋺を取り外してください。
- 本機の汚れ・付着物は、乾布等で拭き取ってください。濡れた布・洗剤等は使用しないでください。
- 本機の保管には充分注意してください。
周囲温度40℃以下の乾いた所、子供の手が届かない施設が出来る安全な場所に保管してください。

⚠ 警告

充電 (充電器・バッテリーパック)

- 必ず専用バッテリーパックと専用充電器を使用してください。
※専用品以外を使用すると故障・発熱・発火の危険があります。
- 必ず家庭用コンセント100Vで充電をしてください。
※発電機などで充電をすると、故障・発熱・発火の危険があります。
- 周囲温度0～40℃ 乾いた屋内で可燃物のない場所で充電をしてください。
※高温多湿の場所で充電すると、発熱・発火の危険があります。
0℃以下の場合、充電できない可能性があります。
- 連続で充電する場合は、15分空けてから行ってください。
- 電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 他の金属が、バッテリーパックの端子部に触れないように注意してください。
※短絡した場合、破損・発熱・発火の危険があります。
- バッテリーパックを火への投げ入れ、過熱は絶対にしないでください。
※有害物質の発生・発火の危険があります。

警告 ガス缶・鋸 (別売品)

- ガス缶、鋸の保管には充分注意してください。
周囲温度40℃以下の乾いた風通しのいい所、子供の手が届かない施設が出来る安全な場所に保管してください。
- ガスを吸引しないでください。
※吐き気など体調を崩します。
- 使用済のガス缶を火への投げ入れ、加熱は絶対にしないでください。
※爆発の危険があります。
- 使用済のガス缶にガスを充填しないでください。
ガス缶の処理はP12参照

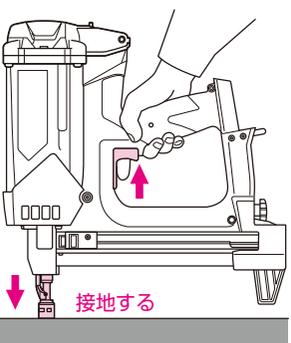
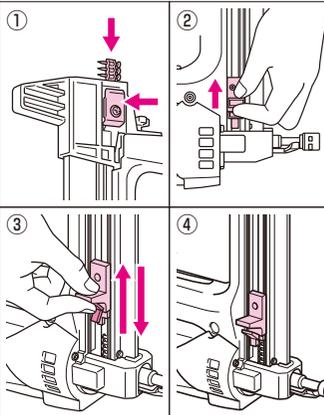
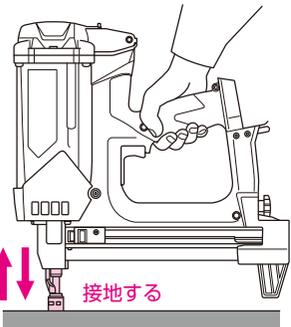
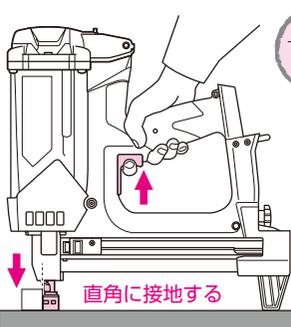
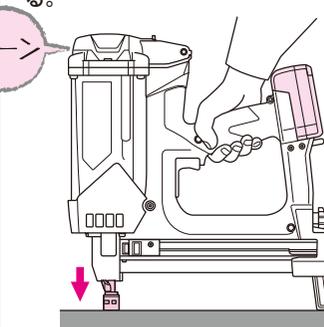
ご注意

- 作業開始前には、木材角30mmで試し打ちをしてから使用してください。
※試し打ちで確認しないと、本機の異常を確認できない場合があります。
- 実際のコンクリートで試し打ちをして、鋸の打ち込みを確認してください。
※適正な鋸打ち込みになるように、調整ガイドで調整をしてください。
詳細はP15参照
- 作業後 押し出しアームは熱くなっている場合がありますので、触らないでください。※やけどの原因となります。
- 本機のLEDが赤点滅もしくは消灯した状態で使用しないでください。
※本来の性能が出ません。また、バッテリーパックが使用できなくなります。
- 定期清掃及び整備を行ってください。
※本来の性能が出ません。また、本機の破損の原因となります。詳細はP20参照
- ガス缶の廃棄は穴を開けてから、各自治体の廃棄方法に従ってください。
詳細はP12参照

- ### 〈点検事項〉
- 1.各部品が外れていたり、痛んでいないか。
 - 2.ねじの締め付けがゆるんでいたり、ねじが抜けていないか。
- 以上を点検していただき、異常のある場合は決して分解せず、お買い求めの販売店を通じて弊社営業管理課または最寄の営業所にお申し付けください。

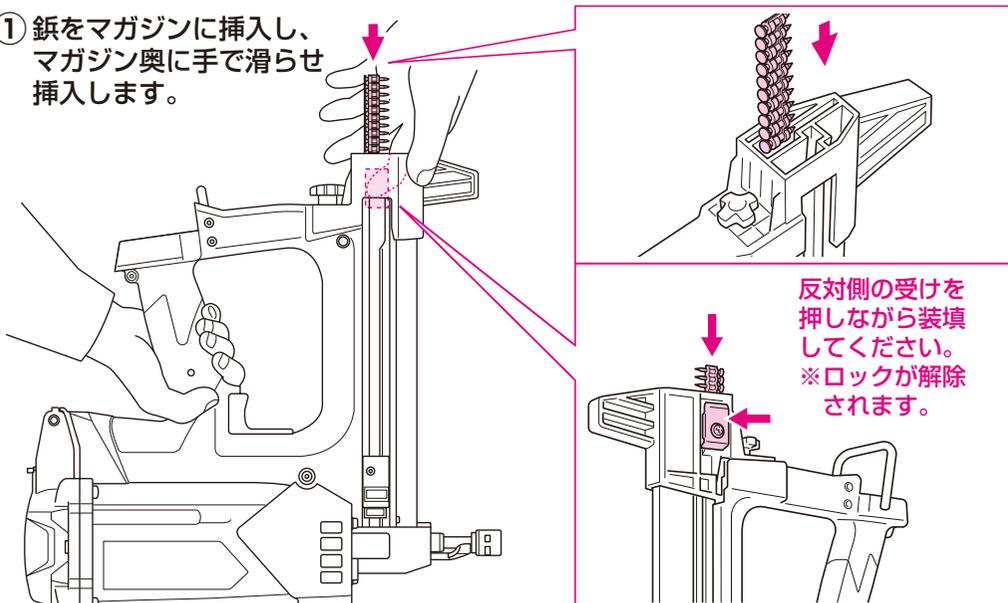
- ### 〈動作確認〉
- 鋸打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。ご使用前に、安全装置が作動しているか、以下項目で確認してください。

押し出しアームと引き金が同時に作動しないと発射しないようになっています。空打ち防止のため、鋸を装填しないと押し出しアームが作動しません。

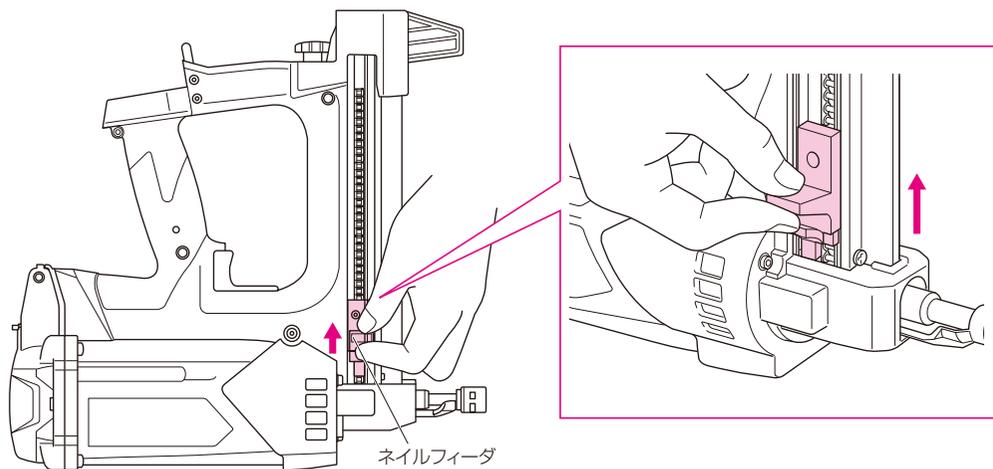
<p>1.押し出しアームを接地しない状態で引き金が引けないことを確認する。</p>  <p>引き金 押し出しアーム 接地しない</p>	<p>2.押し出しアームを接地し、最後まで押せないことを確認する。(引き金が引けない)</p>  <p>接地する</p>	<p>3.鋸を装填する (P9~P10参照)</p> 
<p>4.押し出しアームを接地し、スムーズに上下動作できるかを確認する。</p>  <p>接地する</p>	<p>5.押し出しアームを接地し、押し付けた状態で引き金が引けるかを確認する。</p>  <p>直角に接地する</p>	<p>6.バッテリーパックを装着し、押し出しアームを接地し、押し付けた状態でファンがまわるかを確認する。</p>  <p>ファン</p>

鋇の装填方法

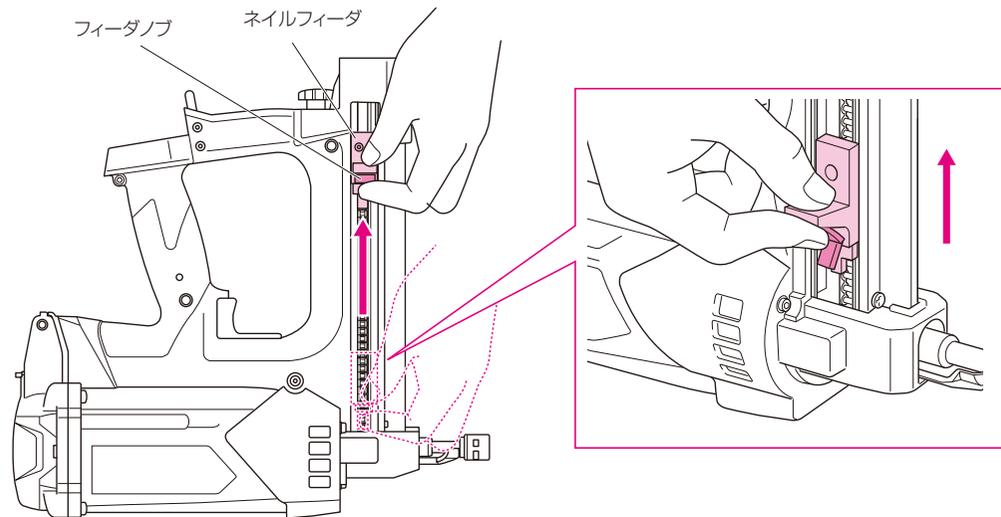
- ① 鋇をマガジンに挿入し、マガジン奥に手で滑らせ挿入します。



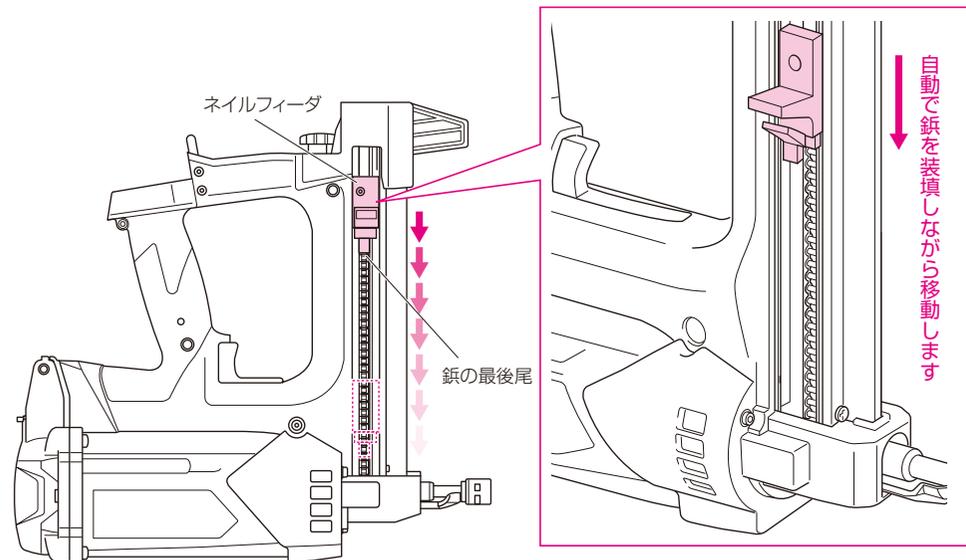
- ② ネイルフィーダのみをつまんで少し持ち上げます。(鋇が奥まで達します)



- ③ フィーダノブをつまみながら、鋇の最後尾までネイルフィーダを引き上げます。



- ④ フィーダノブを緩めると、ネイルフィーダが鋇の最後尾まで自動的に戻り、鋇をpushさえ、鋇を打つごとに上に移動し、装填していきます。

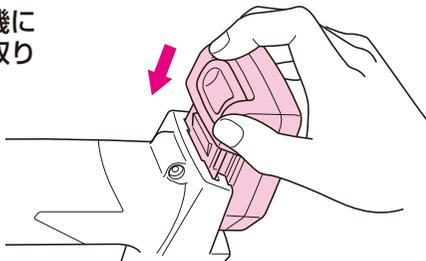


バッテリーパックの脱着方法

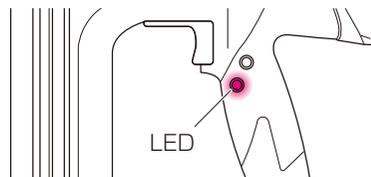
- ① 充電された新しいバッテリーパックを本機にカチッと音のするところまで差し込んで取り付けてください。

バッテリーパックを接続した際、機械内部でカチッという小さな音がしますが、これは異常ではありません。

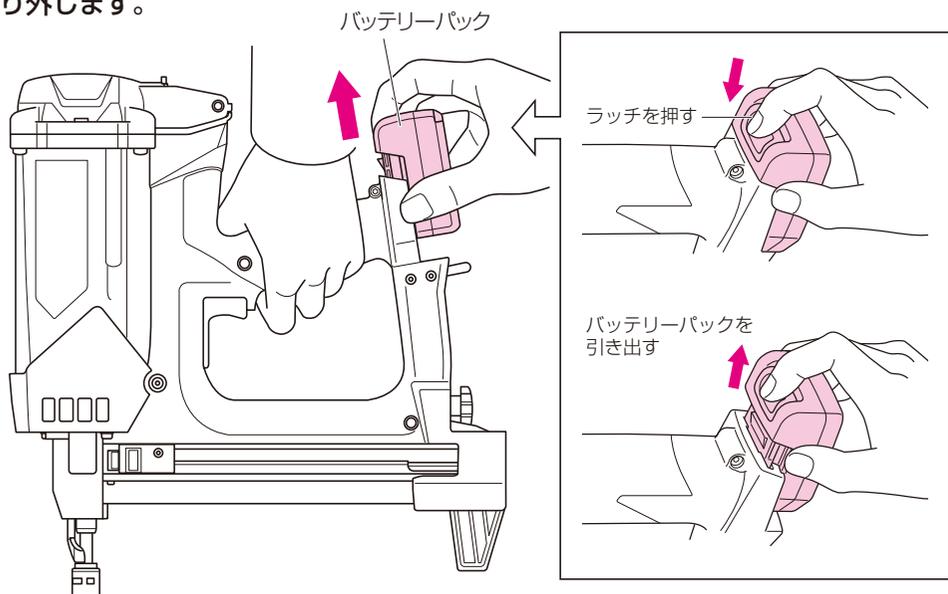
(充電方法についてはP16～P17頁参照)



- ② バッテリーが消耗しますと、本機のLEDが赤く点滅します。バッテリーの交換をしてください。



- ③ 本機をしっかりと持ち、バッテリーパック後方の、バッテリーラッチを押しながら取り外します。



- ④ ガス缶を装填してください。

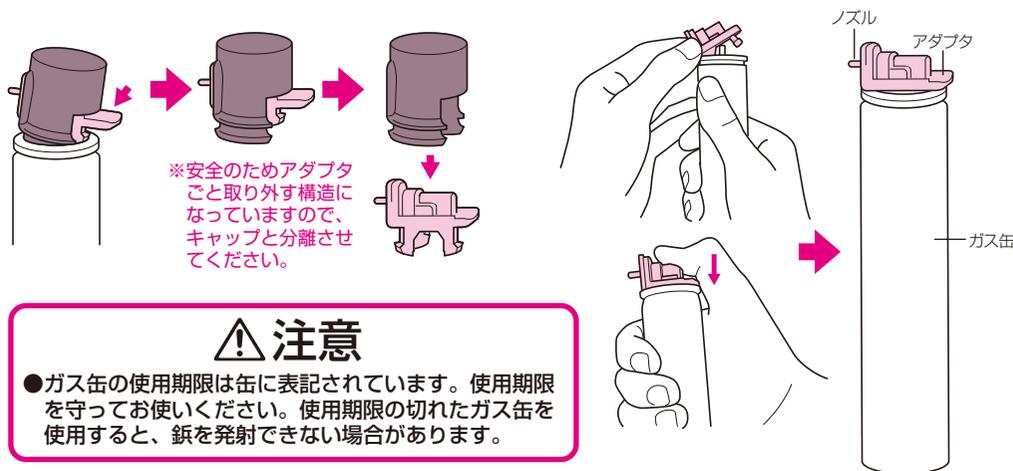
ガス缶(別売)について

① ご使用前に

ガス缶は二重構造になっており、内側容器に液状燃料ガス、外側容器には噴射ガス(加圧された別のガス)が充填してあります。

- ① ガス缶は使用前にアダプタのノブを押し、キャップを取り外してください。

- ② ガス缶にアダプタをはめ込み、ご使用ください。



⚠ 注意

- ガス缶の使用期限は缶に表記されています。使用期限を守ってお使いください。使用期限の切れたガス缶を使用すると、銃を発射できない場合があります。

② 使用済ガス缶の処理

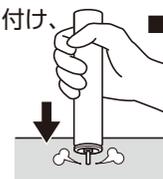
使用済みのガス缶にも、可燃性の噴射ガスは残ったままですので、取扱い、処理の際も十分に注意してください。

ガス缶は、各自治体の廃棄方法に従って処分してください。

空き缶の処理 本製品は二重構造容器です。(燃料ガスを使い切っても噴射ガスは残っています) ガス缶は、各自治体の廃棄方法に従って処分してください。
ガス缶の排出処理をする場合は、風通しのよく、火気、可燃物のない屋外で、風下に向かって行ってください。

燃料ガスを使い切った後の
噴射ガスの排出処理

- ① ノズルを押し付け、
噴射ガスを
最後まで抜く



- ② 市販穴あけ器具で
穴を開ける



ガス缶の装填・交換方法

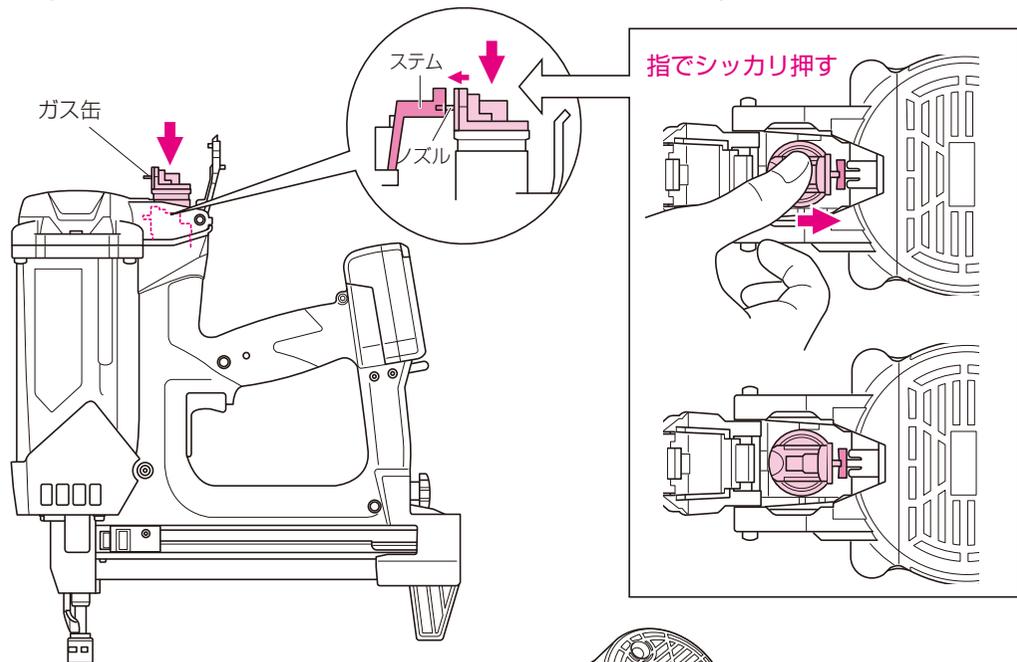
- ① ラッチを引き、セルカバーを開きます。



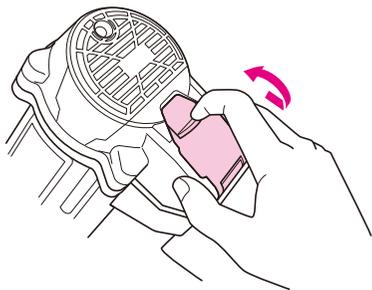
- ② 中に異物がないことを確認します。



- ③ ガス缶のノズルをキッチリとステムにはめ込みます。
(はまっていないとガス供給されないので、打てません。)



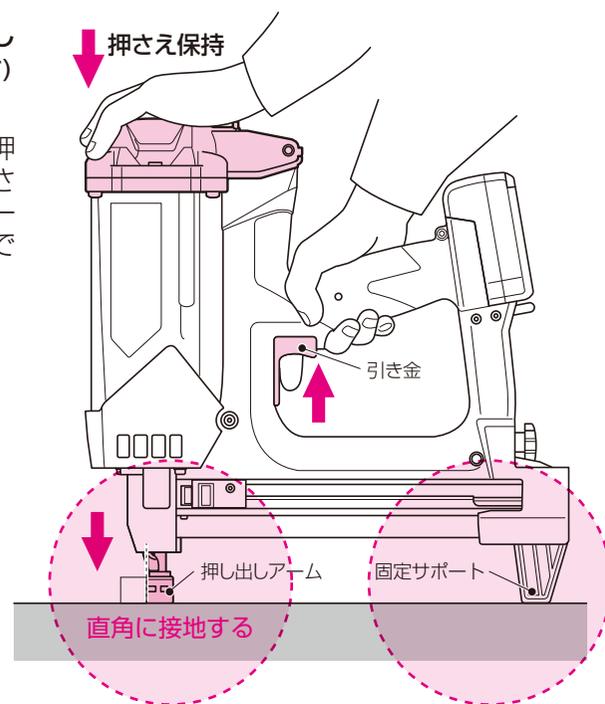
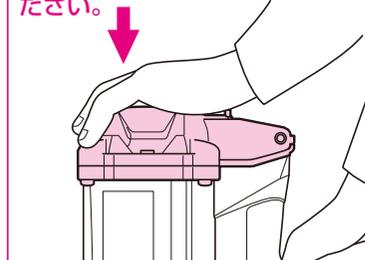
- ④ セルカバーを閉じ、ラッチを掛けます。



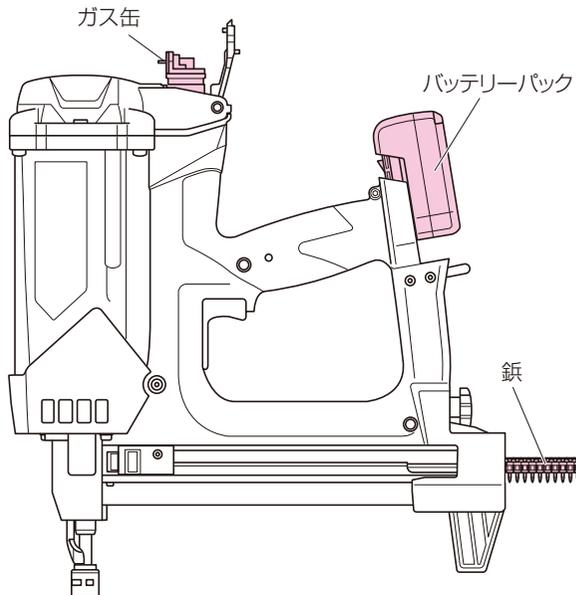
鋏打ち

- ① 押し出しアームを対象物に押し当てます。(ファンの音がします)
- ② 引き金を引きます。
※押し出しアームを対象物に押し当てていないと、鋏は発射されません。また、固定サポートが対象物に当たる位置まで押さえてください。

反動がありますので、ボディキャップを押さえ保持してください。

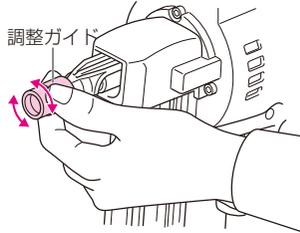


- ① バッテリーパック、ガス缶、
鉾の順で取り外します。

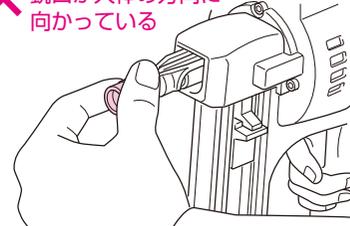


- ② 調整ガイドを回し調整します。
※調整ガイドを回転させると
約0.5 mmスライドします。
※2.5回転で約2.5 mm調整
することができます。

○ 銃口が人体の方向から外れている



✕ 銃口が人体の方向に
向かっている



- ③ 本機に鉾、ガス缶、バッテリーパックを
装填し、さらにテスト打ちをして適正か
どうか確認してください。

適正であれば調整完了、不適正であれば、
②の手順を繰り返してください。

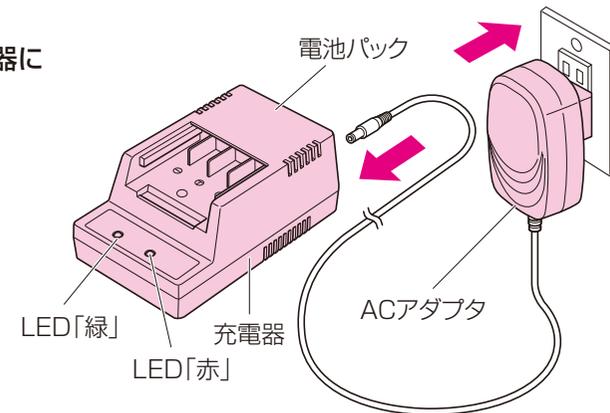
適正	鉾頭が浮く	鉾頭が沈む
	調整ガイドを の方へ 回す	調整ガイドを の方へ 回す

充電方法

- ① ACアダプタのプラグを充電器に
差し込みます。

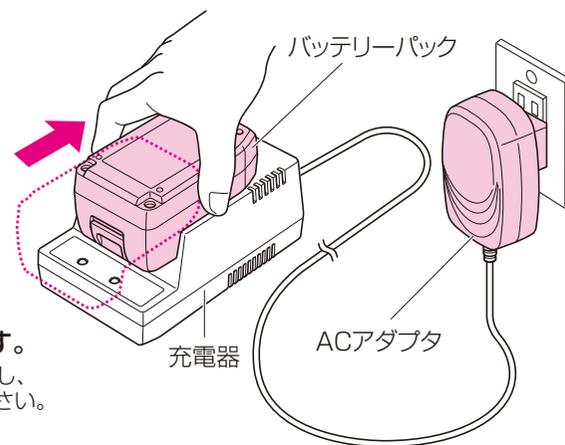
- ② 電源プラグをコンセントに
差し込みます。

LED緑が点灯して、通電状態を
お知らせします。



- ③ バッテリーパックを充電器に
差し込みます。

LED緑が点滅して充電中をお知らせ
します。
※最長充電時間は約150分です。



- ④ LED緑が点灯したら充電完了です。
充電が完了したらバッテリーパックを外し、
電源プラグをコンセントから抜いてください。

充電器のLED表示

専用充電器は、充電器、バッテリーパックの状態をあらわすLED(緑・赤)が付いています。ご使用の際は、必ずLEDを確認してください。

バッテリーパック	LED緑	LED赤	状態	説明
未装着	○ 点灯	● 消灯	通電	充電器をコンセントに差し込んだ状態 (通電状態：バッテリーパック未装着)
装着	☀ 点滅	● 消灯	充電中	バッテリーパックを充電中です。
	○ 点灯	● 消灯	充電完了	バッテリーパックが完全に充電されています。
	● 消灯	☀ 点滅	異常	バッテリーパックの異常です。 新しいバッテリーパックと交換してください。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

本機に使用するバッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きたバッテリーパックは廃棄せずにお買い求めの販売店へお持ち込みいただくか、お買い求めの販売店を通じて弊社営業管理課(巻末参照)または最寄の営業所にお申し付けください。環境の保全と資源のリサイクルにご協力をお願いいたします。

(本機バッテリーパックの使用電池)

- 公称電圧：3.7V/1本
- 1パック使用数量：2本

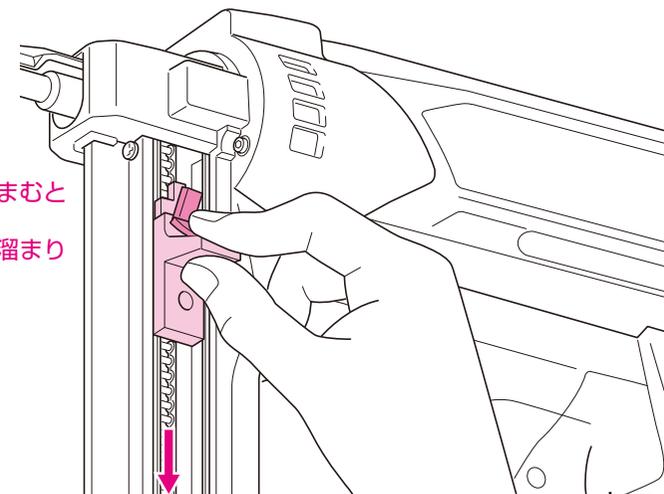
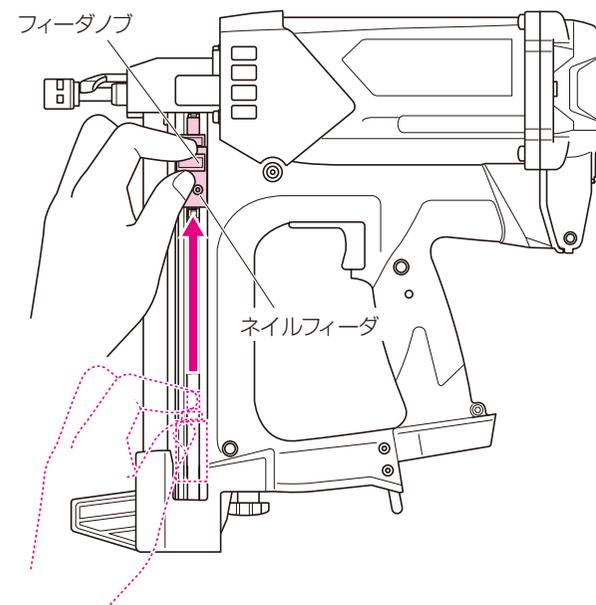


Li-Ion
リチウムイオン
電池はリサイクル

詰まった鋏の除去

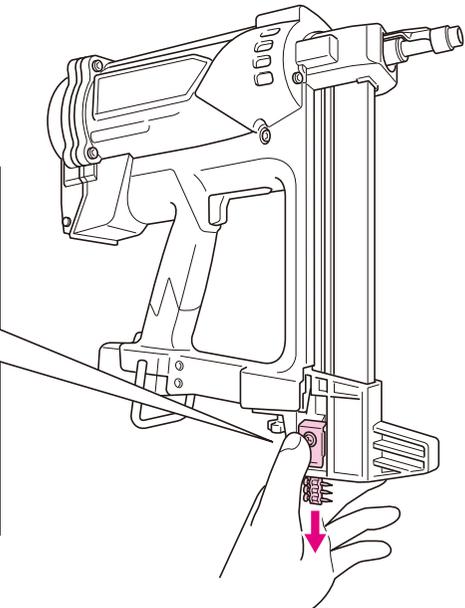
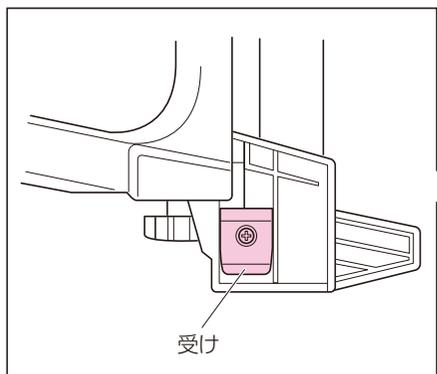
発射工程において、鋏詰まりの不具合が発生したら、以下の手順で鋏を取り外してください。

- ① 本機から、ガス缶とバッテリーパックを取り外します。
- ② フィーダノブをつまみながらネイルフィードを一番上まで上げます。
※ネイルフィードが解除され、鋏が受けまで落下します。

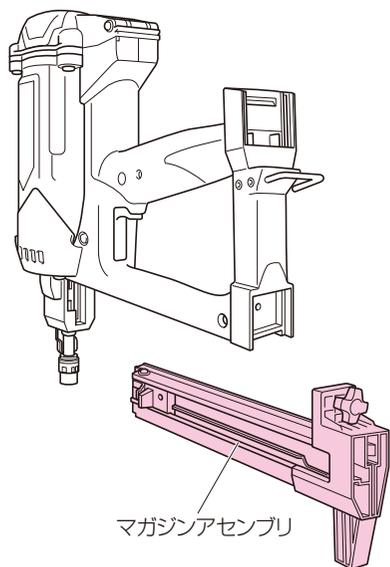
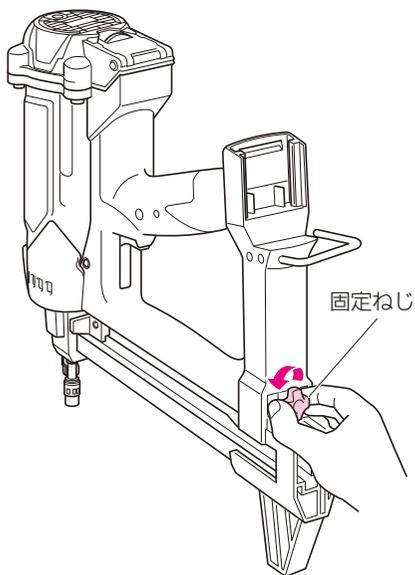


フィーダノブをつまむと
鋏が受けまで落下
※マガジンの底に溜まります

- ③ 受けをつまみ、ロックを解除し、銃をマガジンから外します。
※銃が落下しますのでご注意ください。



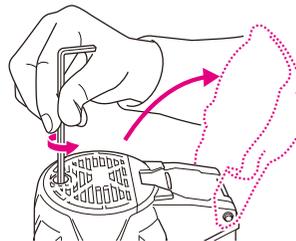
- ④ 固定ねじを緩めます。
⑤ マガジンを取り外し、詰まった釘を取り除きます。
⑥ マガジンを取り付け、固定ねじを締め、ガス缶とバッテリーパックを再度挿入し、次いで発射を続けます。



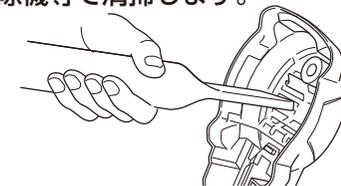
フィルタの定期清掃

定期的に、フィルタを清掃してください。

- ① ボディキャップを付属の六角レンチを使用し、開けます。



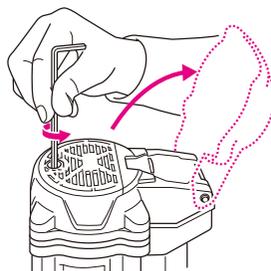
- ② ボディキャップのフィルタを掃除機等で清掃します。



ピストン部の整備

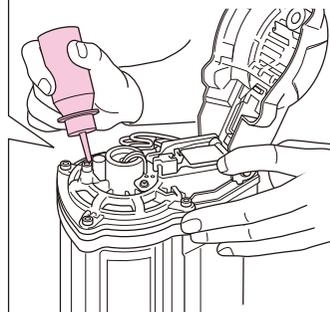
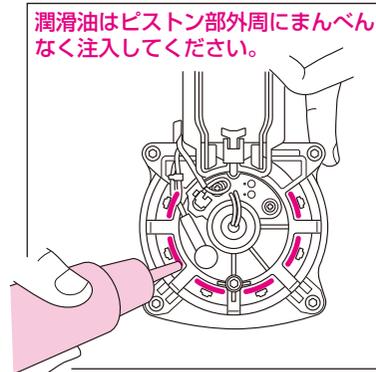
定期的に、ピストン部に潤滑油を注入し、整備してください。

- ① ボディキャップを付属の六角レンチを使用し、開けます。



- ② ピストン部に付属のピストン部用潤滑油を注入します。

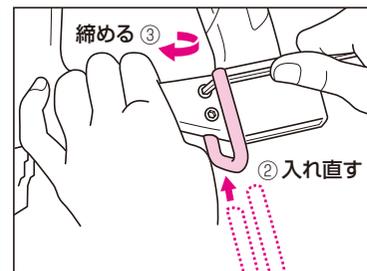
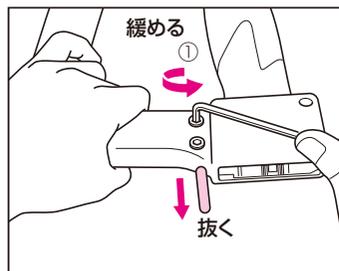
潤滑油はピストン部外周にまんべんなく注入してください。



- ③ ボディキャップを閉め、付属の六角レンチで固定します。

フックの方向を変える

本機のフックは、六角レンチで方向を変えることができます。

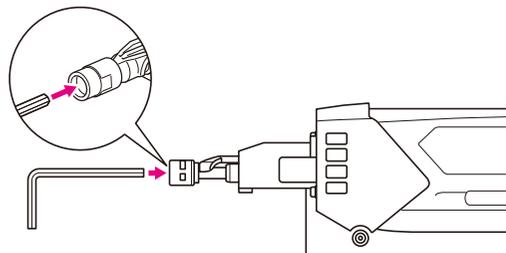


- ① 付属の六角レンチでフックを抜きます。
② フックの向きを変え、入れ直します。
③ 六角レンチで締め付け、固定します。

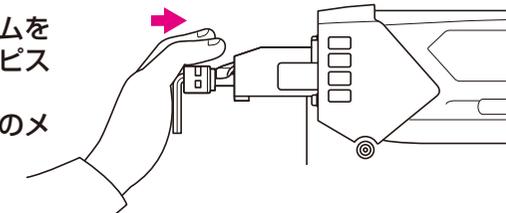
ピストンの位置の戻し方

銃が発射されない場合、メインピストンが正規の位置でない原因が考えられますので、以下をお試してください。

① ガス缶、バッテリーパック、マガジンを取り外します。



② ガス銃の射出口へ、付属の六角ボルトを差し込みます。



③ 六角ボルトを入れたまま、押し出しアームを奥まで押し込むと、通常であればメインピストンが元の位置まで戻ります。それでも銃が発射されない場合は、以下のメンテナンスを行ってください。

- ・フィルタの清掃：P20参照
- ・ピストン部に潤滑油を注入：P20参照
- ・射出口に異物が詰まっていないかを確認し、ある場合は取り除く。

保障について

- 本機の保証期間は出荷日より1年間です。(保証書に記載) お届け次第、ユーザー登録をしてください。

修理について

- 本機の異常を感じたり、調子が悪いと感じた場合には、決して分解せず、お買い求めの販売店を通じて弊社営業管理課または最寄の営業所(巻末参照)にお申し付けください。

症状	原因	対応方法
バッテリーパックが充電できない	バッテリーパック、充電器の異常	お買い求めの販売店を通じて弊社営業管理課又は最寄の営業所にお申し付けください。P23参照
	コンセント、各プラグがしっかりと接続されていない。	充電器のコンセント各プラグの接続を確認する。
バッテリーパックを装着してもLED緑が点灯しない。	バッテリーパックが接続されていない。	バッテリーパックの接続を確認する。
	バッテリーパックの充電不足	バッテリーパックを充填する。P16~P17参照
押し出しアームを奥まで押し込めても出てこない。	銃が残り2本になっている。	銃を装填する。P9~P10参照
	押し出しアーム先端部に異物が詰まっている。	異物を除去する。
押し出しアームを押し込めてもファンが回らない	バッテリーパックの充電不足	バッテリーパックを充填する。P16~P17参照
引き金が引けない	押し出しアームを奥まで押し込めて出てこない。	押し出しアームをしっかり奥まで押し込んでください。
銃が発射されない。	ガス缶の中身が空になっている。	別のガス缶に交換する。P13参照
	ガス缶の消費期限が切れている。	別のガス缶に交換する。P13参照
	ガス缶のノズルがステムに刺さっていない	ガス缶を装填しなおす。P13参照
	押し出しアーム先端部に異物が詰まっている。	異物を除去する。
	メインピストンが正規の位置ではない。	押し出しアーム先端部から長さ130mm以上、φ5mmの棒を差し込み、ピストンを戻す。P21参照
	フィルタが汚れている。	フィルタの掃除をする。P20参照
	銃形状、連結状態が正しくない。	別の銃を装填する。P9~P10参照
銃が深く入る又は浮く。	調整ガイドがうまく調整されていない。	調整ガイドで打込み深さを調整する。P15参照
銃が折れる。曲がる。	コンクリートに対して真っすぐ打っていない。	コンクリートに対して真っすぐ打つ。